

# BUỔI 02

**Dạng bài cách nói khác**

#### 問題 4 :

数学者アインシュタインや、作曲家モーツァルトは、ただ一つの能力に恵まれているから「天才」なのではない。方向が全く異なる二つの能力を持っているから「天才」なのだ。つまり、物事の細かい部分を詳しく見る能力と、物事の全体像を大きくつかむ能力を持ちあわせているのである。物事の詳細な部分を見ていこうとするのは職人的、全体像をつかもうとするのは学者的な見方と言うこともできる。この二方向の能力をどちらも身につけていることが重要な意味を持つ。

問：この文章の内容として最も適切なものはどれか。

1. 人は、職人的な見方、学者的な見方という二方向の能力を身につけるべきだ
2. 優れた能力は「天才」だけが持っているというわけではない
3. 「天才」には物事の全体像を大きくつかむ能力がある
4. 「天才」は異なる二方向の能力を持ちあわせている

#### 問題 5 :

江戸時代以前、人々の普段の生活はとても単調で、毎日ほぼ同じ事の繰り返しだった。特に農村は娯楽もほとんどなく、食生活も貧しかった。白米や酒は贅沢品で、めったに口にすることができなかった。しかし、正月や祭り、結婚式などは特別な日だった。この日だけは白米や餅を食べ、たっぷりの酒を飲む。いい着物を着て、歌や踊りに興じる。このような「非日常」を思い切り楽しむことで、人々は「日常」のつらさを忘れることができ。

民族学者の柳田國男は、このような特別な場面を「ハレ」、それ以外の毎日の生活を「ケ」と名付けた。昔は「ハレ」と「ケ」がはっきりと分かれていて、それが人々の生活にリズムを与えていたと考えたのである。では、現在はどうか。もちろん結婚式などは今でも人生で特別な場面であろう。しかし、近代化が進んだ結果、昔は特別な日にしかできなかったこと一おいしい物を食べたり、綺麗な服を着るなどということは、すっかり普通のことになった。TVだ映画だカラオケだと、娯楽も日常化している。現代は「ハレ」と「ケ」の境界があいまいになっているのである。

問い：この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

1. 昔は「日常」と「非日常」がはっきりと分かれていたが、今はその差があまりわからなくなっている
2. 昔の生活は単調でおもしろくなかったが、今は豊かになって日常生活も楽しいものとなっている
3. 結婚式やお正月は昔は「非日常」の場面だったが、現在では「日常」になってしまっている
4. 現代の人々も、昔のように「ハレ」と「ケ」をはっきりと分けて生活しなければならない

ĐÁP ÁN

問題 4

④

問題 5

①